算式の符号

ａ　指定都市及び中核市の区域以外の区域に係る前年度私立保育所支弁額

ｂ　指定都市及び中核市の区域以外の区域に係る前年度私立保育所徴収額

ｃ　指定都市及び中核市の区域以外の区域に係る前年度私立保育所入所人員

算式イ

$$\frac{\{B\times1.301+C\times2.439+D\times1.626+E\times1.626+F\times2.439+G\times2.439+H\times1.626+I\times1.626+J\times14.634+K\times9.756+L\times14.634+M\times9.756+(N+O+P+Q)\times0.813+(R+S+T+U)\times0.813+(V+W+X+Y)\times4.878\}\times0.956}{A}$$

Ｂ×1.301、Ｃ×2.439、Ｄ×1.626、Ｅ×1.626、Ｆ×2.439、Ｇ×2.439、Ｈ×1.626、Ｉ×1.626、Ｊ×14.634、Ｋ×9.756、Ｌ×14.634、Ｍ×9.756、（Ｎ＋Ｏ＋Ｐ＋Ｑ）×0.813、（Ｒ＋Ｓ＋Ｔ＋Ｕ）×0.813及び（Ｖ＋Ｗ＋Ｘ＋Ｙ）×4.878に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

算式イの符号

Ａ　測定単位の数値

Ｂ　児童数（３歳未満）（（被用者・本則給付分）及び（施設等受給資格者分）の計）

Ｃ　児童数（３歳未満）（非被用者・本則給付分）

Ｄ　児童数（３歳～小学校）（（被用者・本則給付分のうち第１子及び第２子分）及び（施設等受給資格者分）の計）

Ｅ　児童数（３歳～小学校）（非被用者・本則給付分のうち第１子及び第２子分）

Ｆ　児童数（３歳～小学校）（被用者・本則給付分のうち第３子以降分）

Ｇ　児童数（３歳～小学校）（非被用者・本則給付分のうち第３子以降分）

Ｈ　児童数（中学校）（（被用者・本則給付分）及び（施設等受給資格者分）の計）

Ｉ　児童数（中学校）（非被用者・本則給付分）

Ｊ　児童数（３歳未満）（地方公務員・本則給付分）

Ｋ　児童数（３歳～小学校）（地方公務員・本則給付分のうち第１子及び第２子分）

Ｌ　児童数（３歳～小学校）（地方公務員・本則給付分のうち第３子以降分）

Ｍ　児童数（中学校）（地方公務員・本則給付分）

Ｎ　児童数（３歳未満）（被用者・特例給付分）

Ｏ　児童数（３歳～小学校）（被用者・特例給付分のうち第１子及び第２子分）

Ｐ　児童数（３歳～小学校）（被用者・特例給付分のうち第３子以降分）

Ｑ　児童数（中学校）（被用者・特例給付分）

Ｒ　児童数（３歳未満）（非被用者・特例給付分）

Ｓ　児童数（３歳～小学校）（非被用者・特例給付分のうち第１子及び第２子分）

Ｔ　児童数（３歳～小学校）（非被用者・特例給付分のうち第３子以降分）

Ｕ　児童数（中学校）（非被用者・特例給付分）

Ｖ　児童数（３歳未満）（地方公務員・特例給付分）

Ｗ　児童数（３歳～小学校）（地方公務員・特例給付分のうち第１子及び第２子分）

Ｘ　児童数（３歳～小学校）（地方公務員・特例給付分のうち第３子以降分）

Ｙ　児童数（中学校）（地方公務員・特例給付分）

算式ウ

$$\frac{B\times1.377}{A}$$

算式ウの符号

Ａ　測定単位の数値

Ｂ　児童扶養手当支給者数

算式エ(1)

$$\frac{B\times29.54}{A}$$

算式エ(1)の符号

Ａ　測定単位の数値

Ｂ　障害福祉サービスのうち居住系サービス利用者数

算式エ(2)

$$\frac{B\times38.04}{A}$$

算式エ(2)の符号

Ａ　測定単位の数値

Ｂ　障害福祉サービスのうち日中活動系サービス利用者数

算式エ(3)

$$\frac{B\times26.52}{A}$$

算式エ(3)の符号

Ａ　測定単位の数値

Ｂ　障害福祉サービスのうち訪問系サービス利用者数